

受検番号

総合問題 I 【1枚目】

- \* 答えは、全て、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
- \* 与えられたいくつかの事項のうちから答えを選ぶ場合は、記号で書きなさい。
- 注意 \* 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- \* 英語は、活字体または筆記体で書きなさい。
- \* 問題用紙は4枚、解答用紙は2枚あります。

1 次のA、Bの文章を読んで、後の1から14までの各問いに答えなさい。

A

生家の雨戸には、横並びに五つか六つ、細長い小窓がついていた。窓全体を覆う戸板があって、それをずらすことで開閉できる。雨戸を閉めても、外の様子をのぞくことができるし、換気の役目も果たしていただろう。こういう窓を「無双窓」と呼ぶというのは、あとになって知ったことだ。

無双窓は子供部屋にもあった。わたしと妹は、その六畳ほどの狭い和室で寝起きし、宿題もやるというふうだった。以前はa嫁ぐ前の叔母姉妹の部屋だった。

戸板の微妙なずれ方によって、朝、そこから、まぶしい光の侵入がある。暗闇のなかに差し込む光の模様は、一日として同じことはなかった。

①光の( X )のなかに浮かび上がる、きらきらと舞う無数のほこり。それが面白くていつまでも見ている。そんな子供はどんな時代にもいるはずだ。

わたしは、あのとき何を見ていたのか。舞うほこりに見とれていたのか。いや、光によって照らされたものよりも、通過する光そのもの、光の「働き」のほうに魅せられたのではなかったか。

見るとは実に不思議なことだ。視覚を通して何かを「見る」とき、わたしたちはいったい何を見ているのだろうか。木だ、空だ、花だと、一つ一つ認識しながら見る場合はいい。そうではなく、眼を開けて何かを見ている、頭は別の事を考えているということがある。たとえば壁のしみに、しみから想起された全く別の、過去のあるできごとを見ているということがある。

視覚の力は圧倒的だが、他の感覚にひきずられるとき、目を開けていながら、視界がからっぽになり、見えている眼前の風景を見ていないということにもなるのは面白い経験だ。

それでも、目が見える場合には、どうしたって見えてしまうし、見てしまうのだから、その経験は長くは続かない。それが大人の肉体である。今、わたしは見ている、見ているわたしがいる、というふうに自意識も動き出してしまふ。

子供のころはそうではなかった。視覚も聴覚もb嗅覚も触覚も、五感ももっと<sup>こんぜん</sup>渾然ととけあっていて、もっと安心してものを見ていた。我を忘れて、一個の感覚の器として、世界のなかに一人在った。②幼年の「からだ」は泥のようになまめかしい。

その頃のわたしに、「絵」との出会いもあった。

(中略)

小学生だったわたしが、最初に手に取ったのは「名画全集」だ。とはいえ、今とはだ

いぶ違う。一般の本のようには頁が続いておらず、二つ折りにされた分厚い紙が積み重なっている。そのあいだに、薄いパラフィン紙にはさまれたcスクセイの名画が一枚ずつ入っていた。

わたしはパラフィン紙をそっとはぎとりながら、下から現れる絵を次々と見ていく。ほとんどの絵はつまらない。印刷状態が悪く、色味もぼんやりしていて、ただ古い絵としか思えない。

それでも繰り返し見ているうちに、好きだと思ふ絵が、ちょうど三角形の頂点のように定まり始めた。気が付くと、やっぱりこれがいいと、そこに戻っていく作品がある。それがフェルメールだった。

けれど当時、フェルメールという名前は頭に入らなかった。絵のタイトルも記憶に残っていない。わたしにはただ、黒と白の、市松模様の床がよかった。ホコリの溜まったような分厚いカーテンがよかった。床にさしこむ光がよかった。遠い国の遠い人々の、ひどく倦怠した表情がよかった。

絵は窓だ。窓からこちらに射してくる光がある。絵の向こう側には、伸びていく奇妙な時間があり、わたしは視線だけでそれに触れる。そこに描かれた遠い人々に、わたしはその遠さゆえに興味がをかきたてられた。彼らもわたしのように、絵のなかで退屈していた。③間延びした<sup>あじ</sup>餡のような時間を彼らは生きていた。それはわたしの生きていた時間でもあった。

④大人になったある日、わたしはその絵に再会した。そして少し驚き、少しがっかりした。

わたしが見た絵は、フェルメールという画家が描いたもので、たいへん有名で、とても人気があるらしい。静謐な名画として賞賛を集めていた。

静謐という印象も受けなかったし、そんな言葉も知らなかった。わたしはフェルメールの絵に、もっと野蛮な生なものを感じていたので、少し裏切られたような気がした。わたしの見たものと、今見ているものは、本当に同じものなのだろうか。

かつてわたしの前には、ただ数枚の絵があった。わたしの目はその絵を、⑤確かに「所有」していた。それだけで満足して、絵のことを誰かに話そうなどと考えたこともなかった。絵を見たことは、見たという個人の経験のなかで、ただただ豊満にふくらんでいるだけだった。

しかし絵にはタイトルがあり、描いた画家がおり、その人には名前もあった。⑥値段までが付いていた。その絵のことを誰かに話すときには、その人の名前を出さなければならない。それが大人の世界なのだった。

画家の名前を覚えようとしたとたん、それは誰かと分け合う情報となった。⑦わたしは、固有名詞の流通する世界に抵抗しつつも従った。少しだけ努力して、かつて見た画家の名前を頭に入れた。

光に満ち溢れていた世界に、そうして少しずつ、言葉が侵入してきた。

(小池 昌代 『幼年 水の町』による。)

(注) 渾然=いくつかのものがとけ合って区別できないさま。

パラフィン紙=模造紙などに蠟を浸み込ませた防水性の紙。

市松模様=二色の正方形または長方形を交互に配した模様。

倦怠=あきていやになること。 静謐=しずかでおだやかなこと。

受検番号

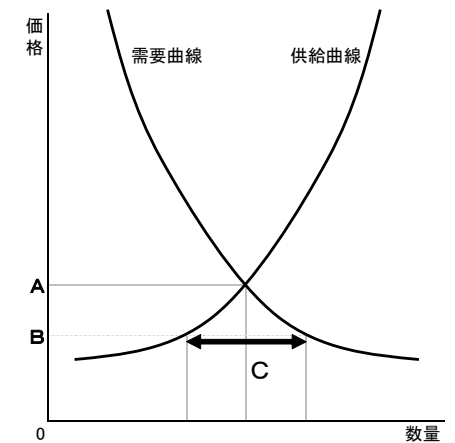
総合問題 I 【2枚目】

- 波線部 a から c までのカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。
- 下線部①「光の ( X )」は、比喻表現である。Xに入れる語として最も適切なものを、次のアからオまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア かけ橋 イ しずく ウ 線路 エ トンネル オ 満ち引き
- 下線部②「幼年の『からだ』は泥のようになまめかしい」とはどういうことか、説明しなさい。
- 下線部③「間延びした飴のような時間」とはどのような時間のことか。その説明として最も適切なものを、次のアからオまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 懐かしさを感じさせる、親しみやすい時間。  
イ 特に目的を持たず、ただ流れていく無意味な時間。  
ウ ゆったりと流れていく、現実世界とは異質な時間。  
エ 自分の感じる時の流れを、そのまま映し出した時間。  
オ 芸術作品の世界に流れる、人々をひきつけ喜びを与える時間。
- 筆者は下線部④のように述べているが、あなたが幼少の頃にすばらしいと思っていたものが、成長してから見ると幼少の頃とは違って見え、がっかりした経験について、そのがっかりした理由を含めて、40語以上50語以内の英語で説明しなさい。
- 下線部⑤「確かに『所有』していた」とはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次のアからオまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 自己のもつ感受性にしがたって絵と向き合い、絵の世界を自分なりに体験していたということ。  
イ 絵を理性的に解釈し、絵の世界に対して疑問を抱く余地を残さず理解したということ。  
ウ 何度も繰り返し絵を見たことによって、その絵がどのようなものであるか完全に記憶していたということ。  
エ 絵の世界の持つ神秘性にひきつけられ、現実世界から逃避した自分だけの世界を作り上げていたということ。  
オ 自分が絵の世界といつでもふれ合えるように、絵を自分だけの大切なものとして保管していたということ。
- 下線部⑥「値段」に関連して、市場経済において、商品の価格は右上の資料のように需要と供給で決まると考えられている。これについて、次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 右上の資料で、需要曲線と供給曲線が交差するAの価格を何というか、答えなさい。

- (2) 価格がAからBに下がったとき、右の資料の矢印Cは何を表すか、次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 値上げ額      イ 値下げ額  
ウ 売れ残り量      エ 品不足量

資料 需要曲線と供給曲線



企業                      消費者

- (3) 市場経済の仕組みがうまく働かない原因の1つに、独占や寡占が挙げられる。これらを防止するために独占禁止法が制定されたが、独占や寡占はなぜ禁止されるのか、その理由を以下の2つの語句を用いて説明しなさい。

B

次の英文は、高校生の Mayu (真由) さんの Book Review (書評) と、それについての同じクラスの Taku (拓) さんと Miki (美紀) さんの Comment (意見) です。

【Mayu's Book Review】

I read the book called TOTTO-CHAN. This book was written by a famous Japanese woman, Kuroyanagi Tetsuko, more than thirty years ago and then became very popular. This book is about herself, and she calls herself Totto-chan in it. My aunt told me to read it because she thought I would learn ⑧ something important about life through this book. She was right! I was able to learn something.

This is a part of the story. One day her young teacher told her mother what Totto-chan usually did at school.  ⑨ She did all these very fast in class. The teacher said to Totto-chan's mother, "Your daughter did this in class many times, so I was angry. But I was not able to scold her because she opened and closed her desk each time for a reason." When the teacher finished talking, Totto-chan's mother remembered what Totto-chan said to her when she came home from the first day at school. Totto-chan was very excited and said, "School is wonderful! My desk at school is very different from mine at home. It has a top you can open. It's like a box, and you can ⑩ 【of / keep / it / kinds / things / in / all】. That's really great!" So, her mother knew why Totto-chan did those things, but she said to the teacher, "I'm sorry. I'll speak to her about it."

I like Totto-chan because she [ ⑪ ]. I really like her carefree personality. I don't know why her teacher didn't try to understand her.

(注) herself : 彼女自身      scold : 叱る      top : (机の) 天板      carefree : 気楽な personality : 性格

受検番号

総合問題 I

【3枚目】

【Taku's Comment】

I have a different opinion from Mayu. I think Totto-chan did too much. I have read this book too, so I know what else she did in class. For example, she usually stood by the window and called out to a passing band of musicians in the street. Also, when the teacher asked the children to draw the Japanese flag in art class, only Totto-chan drew a very different flag. She made it so big that it went off the paper. On her desk, there were a lot of marks which they could never erase! I think we must follow rules. In class, we must listen to our teacher and study hard. When you draw a picture, you should do it on the paper. ⑫ These are examples of rules we should follow. I can understand why Totto-chan's teacher got so angry.

(注) call out to : ~に向かって大声で叫ぶ  
a passing band of musicians : 通り過ぎる音楽隊  
flag : 旗 go off : ~からはみ出す mark(s) : 跡 erase : 消す  
follow rules : ルールを守る

【Miki's Comment】

⑬ When Totto-chan was interested in something, she was in her own world and was feeling something wonderful. For her, doing the things she wanted to do was more important than following rules. This may not be the "right" thing, but is following rules always more important? I understand why Mayu's aunt said Mayu would learn something important through this book. Today, each of us tries very hard to be a good member of a busy society and forgets how important it is to do the things we really want to do. Life is a journey to find who you are. In life, to find who you are, you have to listen to your own feelings and remember how important it is to do the things you want to do. I believe Totto-chan shows us this.

(注) society : 社会 journey : 旅

- 9 下線部⑧とは、どういうことであると【Miki's Comment】の中で述べられているか。45字以上55字以内の日本語で答えなさい。
- 10 次のアからエまでを正しい順番に並べかえ、⑨の部分を完成しなさい。
- ア If she didn't like it, she opened the desk again, took out an eraser, closed the desk, used the eraser, then opened the desk, put the eraser back and closed the desk again.
- イ The teacher said that in class Totto-chan opened and closed her desk many times to take out or put back her notebook, her pencil, her book, and her eraser.
- ウ Then she opened her desk again, put her head in it, took out a pencil, quickly closed the desk, and wrote an "あ".
- エ For example, when they were going to write Japanese, she opened her desk, took out her notebook, and then closed the desk.
- 11 ⑩【     】内の語を意味が通るように並べかえなさい。
- 12 [ ⑪ ]に適切な英語を文脈の流れに合うように入れなさい。ただし、5語以上とする。
- 13 下線部⑫が指す内容を日本語で答えなさい。
- 14 下線部⑬について、この時のトットちゃん (Totto-chan) の心情にもっとも近い内容を表している1文を、和文Aの(中略)より前の部分から30字以内で抜き出し、そのはじめと終わりの5字を書きなさい。(句読点を含む。)

受検番号

総合問題 I 【4枚目】

2 次の資料1と資料2は、オランダの画家フェルメールの作品である。資料3はフェルメールと同時代の日本人の作品である。これらを見て、後の1から6までの各問いに答えなさい。

資料1



資料2



資料3



1 資料1は、フェルメールの描いた『牛乳を注ぐ女』という作品であるが、日本における生乳の都道府県別生産量を示したものが右の表1である。これを見ると栃木県・群馬県・千葉県で生乳の生産がさかんであることがわかるが、その共通の理由を答えなさい。

2 資料2は、フェルメールの描いた『地理学者』という作品である。絵画中の地理学者が着ている服は、日本の着物を仕立て直したものだと考えられている。この絵が描かれた1660年前後、日本がヨーロッパ諸国の中でオランダとだけ貿易を続けていた理由を答えなさい。

表1 生乳の都道府県別生産量 (2015年)

	都道府県名	生産量 (千トン)
1	北海道	3,871
2	栃木県	326
3	熊本県	253
4	群馬県	251
5	千葉県	217

(『データで見る県勢』2017年度版より作成)

3 次の表2は、現在のオランダ・ギリシャ・フィンランド・フランスにおける、小麦・じゃがいも・ぶどう・チーズ・木材の生産量を示したものである。このうち、オランダはどれか。表2のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

表2 各国の小麦・じゃがいも・ぶどう・チーズ・木材の生産量 (2014年)

	小麦 (万トン)	じゃがいも (万トン)	ぶどう (千トン)	チーズ (千トン)	木材 (万m <sup>3</sup> )
ア	165	58	1,046	220	143
イ	109	60	…	99	5,703
ウ	130	710	2	772	125
エ	3,895	809	6,173	1,886	5,279

(「…」は「該当なし」、または「資料なし」を示す。『データブック・オブ・ザ・ワールド2018』より作成)

4 資料3は、フェルメールと同時代の日本人の作品である。作者の名前を答えなさい。

5 4の人物以外に、フェルメールと同じ時代に活躍した人物として井原西鶴が挙げられる。井原西鶴に関連する語句および説明文について、次のaからdまでの中から1つ、アからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

(語句)

- a 人形浄瑠璃    b 浮世草子    c 国学    d 俳諧 (俳句)

(説明文)

- ア 東北の旅を通して、作品の芸術性を高めた。  
 イ 出世や金銭を求めて生きる武士や町人の姿を生き生きと描いた。  
 ウ 日本人古来のものの考え方を知ろうと研究した。  
 エ 義理と人情に縛られて生きる町人の悲劇を描いた。

6 資料3が描かれた時代の日本の文化の特徴を、その文化の中心地や文化の担い手に注目して説明しなさい。